

乗船実習が始まり 10 日目、海友丸は今、太平洋を航走しています。外を眺めると船や海鳥を見ることもなく、海と雲しか見えませんが、当直中に虹とイルカを見ることができました。とても感動しました。夜空の星は長崎と違い、見える数も多く綺麗でした。これからも続く実習は、不安も多いですが頑張りたいと思います。

実習生 O・K

私は今とてつもなく帰りたいです。まだ 1 週間しか経っていませんが、なかなか実習は大変です。しかし、毎回、まわってくる当直や食事当番などの実習は次第に慣れ、船酔いもなくなり頑張っています。操業が始まるとさらに大変な実習になると思いますが、友達や専攻科の先輩、頼れる指導教官の指導のもと、今後も楽しみながら残りの月日を過ごしていきたいと思いつつ、やっぱり本音は「帰りた」です。

実習生 U・Y

もうすぐマグロ延縄漁ろう実習が始まろうとしています。ここまでの約 2 週間は順調に実習を行ってきました。漁ろう実習が始まると、十分な睡眠もとれなくなりとても大変な実習になると思いますが、その後には待望のホノルル寄港があるので一生懸命に頑張っ乗り越えていきたいと思っています。あと 1 ヶ月半、楽しく多くの知識や技術を学びたいと思っています。

実習生 I・T

出港して 1 週間以上経った今の気持ちは、早く帰りたという思いだけです。しかし、ようやく船内生活にも慣れてきました。乗船実習は集団生活なので、自分勝手な行動がみんなの足を引っ張ります。家の生活と違って厳しい環境です。乗船実習で一番辛いのは、4 時間立ちっぱなしの当直です。座れないのがとても厳しいと感じています。最初にも言いましたが、早く帰りたいです。

実習生 S・H

出港して 2 週間を迎えようとしています。生徒たちは日々、実習に取り組み、漁具の作製、海洋観測、航海、機関当直、食事当番等を行っています。漁ろう実習を間近に控え、今から漁獲されるマグロの話などが多くかわされます。怪我、病気等がないよう注意して指導したいと思います。

指導教官